

## 地域協働による重要松の保全について ～奥州市前沢区 月山松を守る会の取組～

### 1 はじめに

奥州市前沢区の南東に位置する経塚山、その中腹にある月山神社奥の院周辺には見事なアカマツ群落が存在し、麓の集落からも望むことができます。

地域では、「月山松」として親しまれ、地元関係者が協働で、保全活動に取り組んでいます。

### 2 月山松について

月山松は、樹齢400年と推定され、最も大きいものでは、胸高直径120cm、樹高30mになります。

しかしながら、県南地方で昭和50年代に発生した松くい虫被害がこの周辺にも拡大し、これまで月山松40本が被害に遭っています。

このため、奥州市では、平成元年から薬剤散布による予防対策を講じています。



【月山松巨木群】

### 3 地域協働の保全の取組

地域での松の保全活動の中心を担っているのが、「月山松を守る会」(大石 喜清会長。会員27名。以下「守る会」)です。守る会では、平成18年から、より確実な防除措置を講じるため、月山神社、生産森林組合、行政等との協働

により、薬剤の樹幹注入剤の施行を継続しています。

### 4 薬剤注入の更新と研修会の開催

守る会では、去る11月27日に、薬剤期間が満了した松(20本)を対象に、薬剤を注入しました。今回は、岩手県緑化推進委員会などからの助成を受け、実施しました。これに併せ、当普及指導区では、薬剤メーカーの技術者を講師に、岩手大学の学生、造園業者など約50名が樹幹注入方法等を研修しました。

参加者は、効率的な作業方法として行われている、加圧ボトルを使ったエア抜きやガスポンベの使用など細かい手順を学びました。

研修後は、月山松の治療にあたっている佐藤 好氏(岩手県林業普及協力員、樹木医)から、枝折れ後の腐朽部、空隙部の治療経過などの説明がありました。



【研修会の様子】

### 5 おわりに

薬剤注入後の月山松の松くい虫被害はこれまで確認されたのは、わずか2本であり、その効果が十分発揮されています。

振興局では、このような地域協働による松保全活動を継続して支援していきます。